



API サポート

この章では、Clean Access Manager (CAM) の API サポートについて説明します。この章の内容は以下のとおりです。

- 概要 (p.B-1)
- 認証要件 (p.B-2)
- MAC の操作 (p.B-3)
- 証明済みデバイスリストの操作 (p.B-5)
- ユーザの操作 (p.B-6)
- ゲスト アクセスの操作 (p.B-9)
- レポートの操作 (p.B-11)

概要

Cisco NAC アプライアンスは、HTTPS POST を使用して特定の操作を実行できる **cisco_api.jsp** という名前のユーティリティ スクリプトがあります。CAM の Clean Access API には、Web ブラウザから次の URL でアクセスできます。 https://<ip-or-name>/admin/cisco_api.jsp

この API を使用する場合は、次の点に注意してください。

- 企業内に Perl などのスクリプト言語に精通している担当者が必要です。
- 管理ユーザ認証のみをサポートします。HTTP、GET、および「認証を行わない」API はサポートされません。
- これらのスクリプトを実行するマシンには、Perl または同様のソフトウェアをインストールする必要があります。
- Cisco TAC は Perl またはその他のスクリプト パッケージのデバッグをサポートしません。

CAM から Cisco API ページを表示できます (https://<ccam-ip-or-name>/admin/cisco_api.jsp)。また、次の URL にある **cisco_api.jsp** ページで、Cisco NAC アプライアンスの情報を確認できます。

<http://www.cisco.com/warp/customer/707/ca-mgr-faq2.html#q8>

CAM Web コンソール インターフェイスを介してデバイスを免除する方法については、「[デバイスおよびサブネットのグローバルフィルタリング](#)」(p.3-8) を参照してください。

認証要件

API にアクセスするには、SSL を介した認証が必要です。2 つの認証方式がサポートされています。

- セッションによる認証

管理者は *adminlogin* および *adminlogout* 関数を使用して認証シェル スクリプトを作成し、このスクリプトを使用して、管理セッションの残りの部分でアクセスするセッション ID をクッキーに設定します。セッション ID クッキーが設定されていないと、Invalid User エラーが表示されます。*adminlogin* (管理者ログイン) 関数は、セッション ID を返します。*adminlogout* 関数は、セッションを終了します。ただし、*adminlogout* 関数を使用しなかった場合は、CAM が設定されたか、またはデフォルトの管理セッション タイムアウトに従ってセッションを終了します。

- 関数による認証

クッキーを使用するシェル スクリプトを作成しない場合は、関数が使用されるたびに認証することができます。関数による認証の場合、ユーザは既存スクリプトで使用しているすべての関数に *admin* および *password* パラメータを追加する必要があります。この場合は、*adminlogin* および *adminlogout* 関数は使用しません。

管理者の操作

クッキーを使用してセッション ID による認証を実行する場合は、*adminlogin* および *adminlogout* 関数を使用してシェル スクリプトを作成します。これらの関数を使用しない場合は、各関数に管理者のユーザ名およびパスワードのパラメータを含める必要があります。

adminlogin

adminlogin 関数はセッション ID を返します。セッション ID は、別の API で使用するためにクッキーとして設定する必要があります。

必須入力パラメータ：

- op : adminlogin
- admin : 管理者のユーザ名を指定します。
- passwd : 管理者のパスワードを指定します。

出力パラメータ : <!--error=msg--> コメント

- Success : 次の 2 番目のコメントに、メッセージ値 0 とセッション ID が示されます。
<!--session_id=SESSION_ID_STRING-->
- Failure : エラー文字列

adminlogout

adminlogout 関数は、クッキー内のセッション ID を使用して管理者をログアウトします。

必須入力パラメータ：

- op : adminlogout

出力パラメータ : <!--error=msg--> コメント

- Success : メッセージ値 0
- Failure : エラー文字列

MAC の操作

ここでは、次の項目について説明します。

- [addmac](#) (p.B-3)
- [removemac](#) (p.B-3)
- [addcleanmac](#) (p.B-4)
- [removecleanmac](#) (p.B-4)

addmac

addmac 関数は、1 つまたは複数の MAC アドレスを証明済みデバイス リストに追加します。

必須入力パラメータ :

- *op* : *addmac*
- *mac* : 正確な MAC アドレスまたは範囲を指定します。
サポートされる形式 : 00:01:12:23:34:45、00:01:12:*、または 00:01:12:23:34:45-11:22:33:44:55:66

任意の入力パラメータ :

- *ip* : 正確な MAC アドレスの IPv4 アドレスを指定します。ワイルドカードまたは範囲を指定して、MAC アドレス範囲を指定する場合は、*[ip]* パラメータは使用しないでください。サポートされる形式 : 192.168.0.10
- *type* : 次の文字列のいずれかを指定します : *deny* (デフォルト)、*allow*、*userrole*、*check*、または *ignore*
- *role* : ロール名を指定します。 *role* パラメータは、*Unauthenticated* ロール (デフォルト) の場合は必須ではありませんが、*[userrole]* または *[check]* の場合は必須です。
- *desc* : 説明を入力します。
- *ssip* : Clean Access Server (CAS) を CAM に設定するために使用した IP アドレスを指定します。デフォルトは *global* です。



(注)

セッション ID による認証を使用しない場合は、*admin* および *passwd* 関数は必須です。「[認証要件](#)」(p.B-2) を参照してください。

出力パラメータ : `<!--error=msg-->` コメント

- *Success* : メッセージ値 0
- *Failure* : エラー文字列

removemac

removemac 関数は、1 つまたは複数の MAC アドレスをデバイス フィルタ リストから削除します。

必須入力パラメータ :

- *op* : *removemac*
- *mac* : デバイス フィルタ リストから削除する 1 つまたは複数の MAC アドレスを指定します。MAC アドレスは、ワイルドカードを含む表示形式に完全に一致する必要があります。カンマで区切って複数の MAC アドレスを指定できます。

任意の入力パラメータ :

- *ssip* : CAS を CAM に設定するために使用した IP アドレスを指定します。デフォルトは *global* です。



(注) セッション ID による認証を使用しない場合は、*admin* および *passwd* 関数は必須です。「[認証要件](#)」(p.B-2) を参照してください。

出力パラメータ : <!--error=msg--> コメント

- Success : メッセージ値 0
- Failure : エラー文字列

addcleanmac

addcleanmac 関数は、1 つまたは複数の MAC アドレスを証明済みデバイス リストに免除デバイスとして追加します。

必須入力パラメータ :

- *op* : *addcleanmac*
- *mac* : 追加する MAC アドレスを指定します。サポートされる形式 : 00:01:12:23:34:45、00-01-12-23-34-45、または 000112233445

任意の入力パラメータ :

- *ssip* : デフォルトは *global* です。CAS を CAM に設定するために使用した IP アドレスを指定します。



(注) セッション ID による認証を使用しない場合は、*admin* および *passwd* 関数は必須です。「[認証要件](#)」(p.B-2) を参照してください。

出力パラメータ : <!--error=msg--> コメント

- Success : メッセージ値 0
- Failure : エラー文字列

removecleanmac

removecleanmac 関数は、1 つまたは複数の MAC アドレスを証明済みデバイス リストから削除します。

必須入力パラメータ :

- *op* : *removecleanmac*
- *mac* : 削除する 1 つまたは複数の MAC アドレスを指定します。サポートされる形式 : 00:01:12:23:34:45、00-01-12-23-34-45、または 000112233445

任意の入力パラメータ :

- *ssip* : デフォルトは *global* です。CAS を CAM に設定するために使用した IP アドレスを指定します。



(注) セッション ID による認証を使用しない場合は、*admin* および *passwd* 関数は必須です。「[認証要件](#)」(p.B-2) を参照してください。

出力パラメータ : <!--error=msg--> コメント

- Success : メッセージ値 0
- Failure : `ssip` が指定されていない場合、または複数の CAS から MAC アドレスを削除できない場合は、1 つまたは複数のエラー文字列が表示されることがあります。

証明済みデバイス リストの操作

`clearcertified` 関数は、Clean Access 証明済みデバイス リストから既存のエントリをすべて削除します。

必須入力パラメータ :

- `op` : `clearcertified`



(注)

セッション ID による認証を使用しない場合は、`admin` および `passwd` 関数は必須です。「[認証要件](#)」(p.B-2) を参照してください。

出力パラメータ : <!--error=msg--> コメント

- Success : メッセージ値 0
- Failure : エラー文字列

ユーザの操作

ここでは、次のユーザ管理関数について説明します。

- [kickuser](#) (p.B-6)
- [kickuserbymac](#) (p.B-6)
- [kickoobuser](#) (p.B-7)
- [queryuserstime](#) (p.B-7)
- [renewuserstime](#) (p.B-7)
- [changeuserrole](#) (p.B-8)
- [changeloggedinuserrole](#) (p.B-8)
- [getlocaluserlist](#) (p.B-9)
- [addlocaluser](#) (p.B-9)
- [deletelocaluser](#) (p.B-10)

kickuser

kickuser 関数は、1 つまたは複数の現在ログインしている in-band (IB; インバンド) ユーザのアクティブセッションを終了します。

必須入力パラメータ :

- *op* : *kickuser*
- *ip* : 1 つの IP アドレスまたはカンマ区切りの IP アドレスのリストを指定します。



(注) セッション ID による認証を使用しない場合は、*admin* および *passwd* 関数は必須です。「[認証要件](#)」(p.B-2) を参照してください。

出力パラメータ : <!--error=msg--> コメント

- Success : メッセージ値 0
- Failure : エラー文字列

kickuserbymac

kickuserbymac 関数は、1 つまたは複数のログインしている IB ユーザのアクティブセッションを MAC アドレスによって終了します。

必須入力パラメータ :

- *op* : *kickuserbymac*
- *mac* : 1 つの MAC アドレスまたはカンマ区切りの MAC アドレスのリストを指定します。



(注) セッション ID による認証を使用しない場合は、*admin* および *passwd* 関数は必須です。「[認証要件](#)」(p.B-2) を参照してください。

出力パラメータ : <!--error=msg--> コメント

- Success : メッセージ値 0
- Failure : エラー文字列

kickoobuser

kickoobuser 関数は、1 人または複数の out-of-band (OOB; アウトオブバンド) ユーザのアクティブセッションを終了します。

必須入力パラメータ :

- op : kickoobuser
- mac : 1 つの MAC アドレスまたはカンマ区切りの MAC アドレスのリストを指定します。



(注) セッション ID による認証を使用しない場合は、*admin* および *passwd* 関数は必須です。「[認証要件](#)」(p.B-2) を参照してください。

出力パラメータ : <!--error=msg--> コメント

- Success : メッセージ値 0
- Failure : エラー文字列

queryuserstime

queryuserstime 関数は、ログインしているユーザの残りのセッション時間を照会します。この関数は、セッション タイムアウトが設定されたロールのログイン ユーザのリストを返します。

必須入力パラメータ :

- op : queryuserstime



(注) セッション ID による認証を使用しない場合は、*admin* および *passwd* 関数は必須です。「[認証要件](#)」(p.B-2) を参照してください。

出力パラメータ : <!--error=msg--> コメント

- Success : メッセージ値 0。もう 1 つの <!--list=iplist--> コメントには、IP リストと、各 IP エントリのセッションの残り時間が示されます。
- Failure : エラー文字列

renewuserstime

ログインしたユーザのセッション タイムアウトを、セッションを使用して更新します。

必須入力パラメータ :

- op : renewuserstime
- list : カンマ区切りの IP アドレスのリストを指定します。サポートされる形式 : 10.1.10.10, 10.1.10.11, 10.1.10.12



(注) セッション ID による認証を使用しない場合は、*admin* および *passwd* 関数は必須です。「[認証要件](#)」(p.B-2) を参照してください。

出力パラメータ : <!--error=msg--> コメント

- Success : メッセージ値 0
- Failure : エラー文字列

changeuserrole

changeuserrole 関数は、IB ユーザをオンライン ユーザ ロールから削除し、そのユーザの MAC アドレスを新しいロールでデバイス フィルタ リストに追加することで、IB ユーザがログインする前にそのユーザのアクセス権を変更します。

必須入力パラメータ :

- op : *changeuserrole*
- ip : ログインしているユーザの IP アドレスを指定します。
- role : ユーザの移動先のロールを指定します。



(注) セッション ID による認証を使用しない場合は、*admin* および *passwd* 関数は必須です。「[認証要件](#)」(p.B-2) を参照してください。

出力パラメータ : <!--error=msg--> コメント

- Success : メッセージ値 0
- Failure : エラー文字列

changeloggedinuserrole

changeloggedinuserrole 関数は、ログインしている IB ユーザの現在のロールを新しいロールに変更することで、そのユーザのアクセス権を変更します。

必須入力パラメータ :

- op : *changeloggedinuserrole*
- ip : ログインしているユーザの IP アドレスを指定します。複数のユーザを指定するには、カンマ区切りの IP リストを使用します。
- role : ユーザの新しいロールを指定します。



(注) セッション ID による認証を使用しない場合は、*admin* および *passwd* 関数は必須です。「[認証要件](#)」(p.B-2) を参照してください。

出力パラメータ : <!--error=msg--> コメント

- Success : メッセージ値 0
- Failure : エラー文字列

ゲスト アクセスの操作

ここでは、次の関数について説明します。

- [getlocaluserlist](#) (p.B-9)
- [addlocaluser](#) (p.B-9)
- [deletelocaluser](#) (p.B-10)

これらの API 関数を使用して、管理者は CAM 上でローカル ユーザ アカウントを作成、削除、および表示できます（ローカル ユーザは、外部認証サーバではなく、CAM によって内部的に検証されるユーザです）。これらの API は、ダイナミック トークン ユーザ アクセスを生成するためのゲスト アクセスのサポートを目的としています。そのため、次の機能を備えています。

- Web ページを使用して Cisco NAC アプライアンス API にアクセスし、ビジターのユーザ名 / パスワードの組み合わせ (`jdoo@visitor.com/jdoo112805` など) を挿入し、ロールを割り当てます (`guestlday` など)。
- 該当日にゲスト アクセス ロールに関連付けられたゲスト ユーザをすべて削除します。
- ゲスト アクセス ロールに関連付けられたすべてのユーザ名をリストします。

これらの API は、ゲスト ユーザ アクセス用のダイナミック トークン / パスワード生成をほとんどサポートし、ゲストロールに対応するゲスト ユーザの削除を許可します。

フロントエンド生成パスワード / トークンを作成する必要があります。Cisco NAC アプライアンスに備わっているアカウントिंग機能は、RADIUS のみです。

getlocaluserlist

`getlocaluserlist` 関数は、ローカル ユーザ アカウントとそれらのユーザ名およびロール名のリストを返します。

必須入力パラメータ :

- `op` : `getlocaluserlist`



(注) セッション ID による認証を使用しない場合は、`admin` および `passwd` 関数は必須です。「[認証要件](#)」(p.B-2) を参照してください。

出力パラメータ : `<!--error=msg-->` コメント

- `Success` : メッセージ値 0。 `<!--count=10-->` に返されたユーザ数が示され、続いて、 `<!--NAME=jdoo,ROLE=Student-->` の形式で同じ数のコメントが表示されます。
- `Failure` : エラー文字列

addlocaluser

`addlocaluser` 関数は、新しいローカル ユーザ アカウントを追加します。

必須入力パラメータ :

- `op` : `addlocaluser`
- `username` : 新しいローカル ユーザ アカウントのユーザ名を指定します。
- `userpass` : 新しいローカル ユーザ アカウントのユーザ パスワードを指定します。
- `userrole` : 新しいローカル ユーザ アカウントのロールを指定します。



(注) セッション ID による認証を使用しない場合は、*admin* および *passwd* 関数は必須です。「[認証要件](#)」(p.B-2) を参照してください。

出力パラメータ : <!--error=msg--> コメント

- Success : メッセージ値 0
- Failure : エラー文字列

deletelocaluser

deletelocaluser 関数は、1 つまたはすべてのローカル ユーザ アカウントを削除します。

必須入力パラメータ :

- *op* : *deletelocaluser*
- *qtype* : *name* または *all* のいずれかのデータ タイプを指定します。
- *qval* : 一重引用符で囲んだ正確なユーザ名を指定するか、または [*all*] を示す空の文字列 ‘ ’ を指定します。



(注) セッション ID による認証を使用しない場合は、*admin* および *passwd* 関数は必須です。「[認証要件](#)」(p.B-2) を参照してください。

出力パラメータ : <!--error=msg--> コメント

- Success : メッセージ値 0
- Failure : エラー文字列

レポートの操作

スクリプトを作成して情報のリストを編集したり、次のレポート関数を使用してレポートしたりできます。

- [getuserinfo](#) (p.B-11)
- [getoobuserinfo](#) (p.B-12)
- [getcleanuserinfo](#) (p.B-12)
- [getreports](#) (p.B-12)

getuserinfo

特定の IP アドレス、MAC アドレス、またはユーザ名について、*getuserinfo* 関数は次のユーザ情報を取得します。

- IPv4 形式の IP
- MAC アドレス
- *Name* はユーザ名です。
- *Provider* は、LDAP サーバの場合があります。
- *Role* は、ユーザに割り当てられている現在のロールです。
- *Origrole* は、ユーザに割り当てられた本来のロールです。
- *VLAN* は、本来の VLAN タグです。
- *NEWVLAN* は、現在の VLAN タグです。
- ユーザのシステムのオペレーティングシステム

複数のユーザが条件に一致する場合、システムはユーザのリストを返します。qtype パラメータとして [all] を入力した場合は、すべてのユーザのすべての情報が取得されます。

必須入力パラメータ：

- op : getuserinfo
- qtype : 次の文字列のいずれかを指定します : ip、mac、name、または all
- qval : qtype パラメータに応じて IP アドレス、MAC アドレス、またはユーザ名を指定します。[all] を指定した場合は、空の文字列 (“”) を入力します。



(注)

セッション ID による認証を使用しない場合は、*admin* および *passwd* 関数は必須です。「[認証要件](#)」(p.B-2) を参照してください。

出力パラメータ : <!--error=msg--> コメント

- Success : メッセージ値 0。<!--count=10--> に返されたユーザ数が示され、続いて、対応する数のコメント <!--IP=10.1.10.12,MAC=0A:13:07:9B:82:60,NAME=jdoe,PROVIDER=LDAP Server,ROLE=Student,ORIGROLE=Student,VLAN=1024,NEWVLAN=1024,OS=Windows XP--> が表示されます。
- Failure : エラー文字列

getoobuserinfo

特定の IP アドレス、MAC アドレス、またはユーザ名について、*getoobuserinfo* 関数は、ログインしている OOB ユーザに関する情報を取得します。または、*qtype* パラメータに [all] を指定した場合は、システムはログインしているすべての OOB ユーザに関するすべての情報のリストを生成します。複数のユーザが条件に一致する場合、システムはユーザのリストを生成します。

必須入力パラメータ：

- *op* : *getoobuserinfo*
- *qtype* : 1 人または複数のユーザを識別する方式を指定します。ip、mac、name、または all
- *qval* : IP アドレス、MAC アドレス、またはユーザ名を指定します。[all] を指定する場合は、空の文字列 (“”) を入力します。



(注)

セッション ID による認証を使用しない場合は、*admin* および *passwd* 関数は必須です。「[認証要件](#)」(p.B-2) を参照してください。

出力パラメータ : <!--error=msg--> コメント

- Success : メッセージ値 0。<!--count=10--> に返されたユーザ数が示され、続いて、相当する数のコメント <!--IP=10.1.10.12,MAC=0A:13:07:9B:82:60,NAME=jdoe,PROVIDER=LDAP Server,ROLE=Student,AUTHVLAN=10,ACCESSVLAN=1024,OS=Windows XP,SWITCHIP=10.1.10.1,PORTNUM=18--> が表示されます。
- Failure : エラー文字列

getcleanuserinfo

特定の MAC アドレスまたはユーザ名について、*getcleanuserinfo* 関数は認証済みユーザに関する情報を返します。複数のユーザが条件に一致する場合、システムは認証済みユーザのリストを生成します。

必須入力パラメータ：

- *op* : *getcleanuserinfo*
- *qtype* : 1 人または複数のユーザを識別する方式を指定します。mac、name、または all
- *qval* : MAC アドレスまたはユーザ名を指定します。[all] を指定する場合は、空の文字列 (“”) を入力します。

出力パラメータ : <!--error=msg--> コメント

- Success : メッセージ値 0。<!--count=10--> に返されたユーザ数が示され、続いて、相当する数のコメントが <!--MAC=0A:13:07:9B:82:60,NAME=jdoe,PROVIDER=LDAP Server,ROLE=Student,VLAN=10--> の形式で表示されます。
- Failure : エラー文字列

getreports

getreports 関数は、カスタマイズされた内容を含むレポートを返します。また、この関数を使用して、特定のソフトウェアがインストールされているユーザのリストを編集できます。

必須入力パラメータ：

op : *getreports*



(注) セッション ID による認証を使用しない場合は、*admin* および *passwd* 関数は必須です。「[認証要件](#)」(p.B-2) を参照してください。

任意のクエリ パラメータ :

表 B-1 に、*getreports* 関数のクエリ パラメータを示します。

表 B-1 *getreports* 関数のクエリ パラメータ

パラメータ名	有効な値	説明
status	次の値のいずれか : <ul style="list-style-type: none"> any (デフォルト) success failure 	指定されたステータスの情報だけをレポートします。
user	文字列。デフォルトは、一重引用符で囲んだ空の文字列です。	指定されたユーザに関する情報をレポートします。
userKey	文字列。デフォルトは、一重引用符で囲んだ空の文字列です。	このユーザの鍵を含む情報をレポートします。
ip	1 つの有効な IPv4 アドレス (10.20.30.40 など)。デフォルトは一重引用符で囲まれた空の値です。	指定された IP アドレスに関する情報をレポートします。
mac	1 つの有効な MAC アドレス (00:01:12:23:34:45 など)。デフォルトは、一重引用符で囲んだ空の値です。	指定された MAC アドレスに関する情報をレポートします。
os	次の値のいずれか : <ul style="list-style-type: none"> 任意の OS を指定するには、一重引用符で囲んだ空の値 ("") を入力します (デフォルト)。 WINDOWS_VISTA_ALL (Windows Vista) WINDOWS_VISTA_HOME_BASIC (Windows Vista Home Basic) WINDOWS_VISTA_BUSINESS (Windows Vista Business) WINDOWS_VISTA_ULTIMATE (Windows Vista Ultimate) WINDOWS_VISTA_ENTERPRISE (Windows Vista Enterprise) WINDOWS_XP (Windows XP) WINDOWS_PRO_XP (Windows XP Pro/Home) WINDOWS_TPC_XP (Windows XP Tablet PC Edition) WINDOWS_MCE_XP (Windows XP Media Center Edition) WINDOWS_2K (Windows 2000) WINDOWS_ME (Windows ME) WINDOWS_98 (Windows 98) 	指定された OS に関する情報をレポートします。

■ レポートの操作

表 B-1 getreports 関数のクエリ パラメータ (続き)

パラメータ名	有効な値	説明
timeRange	timeFrom、timeTo <ul style="list-style-type: none"> timeFrom は、次の値のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> タイムスタンプ (形式: yyyy-mm-dd hh:mm:ss) 現在より何時間前かを示す負の整数 past timeTo は、次の値のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> タイムスタンプ (形式: yyyy-mm-dd hh:mm:ss) 現在より何時間前かを示す負の整数 now -48, -24 (昨日) -24, now (当該日) 2007-01-01 00:00:00, 2007-02-28 23:59:59 (1月1日から2月28日までの間) デフォルト: past, now (時間を問わず、すべての可能なレポート)	指定した時間範囲内に収集した情報をレポートします。
showText	次の値のいずれか: <ul style="list-style-type: none"> true — テキストを返します。 false — テキストを返しません (デフォルト)。 	レポート テキストを返すかどうかを指定します。
orderBy	次の値のいずれか: <ul style="list-style-type: none"> user userKey ip mac os time (デフォルト) 	レポートの編成方法を指定します。
orderDir	次の値のいずれか: <ul style="list-style-type: none"> asc — 昇順を指定します (デフォルト)。 desc — 降順を指定します。 	データの昇順または降順を指定します。
instSoft	次の値のいずれか: <ul style="list-style-type: none"> 一重引用符で囲んだ空の値 (") は、[any] を示しています (デフォルト)。 AV — AntiVirus (AV; アンチウイルス) がインストール済み AS — AntiSpyware (AS; アンチスパイウェア) がインストール済み UNKNOWN AV/AS — 不明の AV/AS 	このタイプのインストール済みソフトウェアを含むレポートのみに制限します。
reqName	AV または AS ソフトウェア名の要件。一重引用符で囲んだ空の値は [any] を示します (デフォルト)。	このソフトウェア要件を満たすレポートだけに制限します。
reqStatus	次の値のいずれか: <ul style="list-style-type: none"> any (デフォルト) success failure 	ソフトウェア要件を満たし、ステータスが条件に一致するレポートだけに制限します (reqName が使用されている場合のみ)。

出力パラメータ：<!--error=msg--> コメント

- Success：メッセージ値 0。<!--count=count--> に返されたレポート数が示されます。レポート数に続き、同じ数のコメントが、<!--status=status,user=user,userKey=userKey,ip=ip,mac=mac,os=os,time=time,text=text--> の形式で表示されます。
- Failure：エラー文字列

